
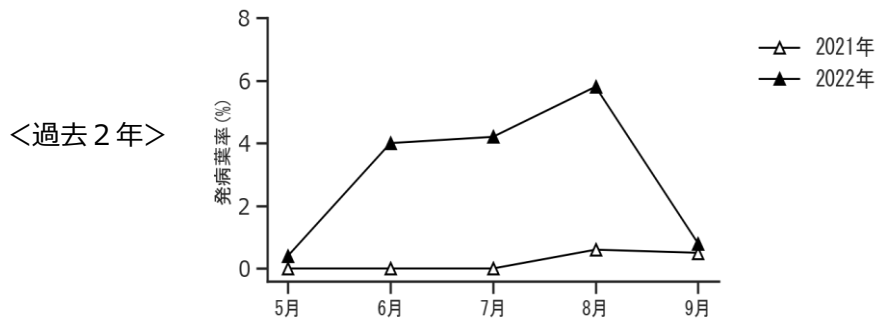
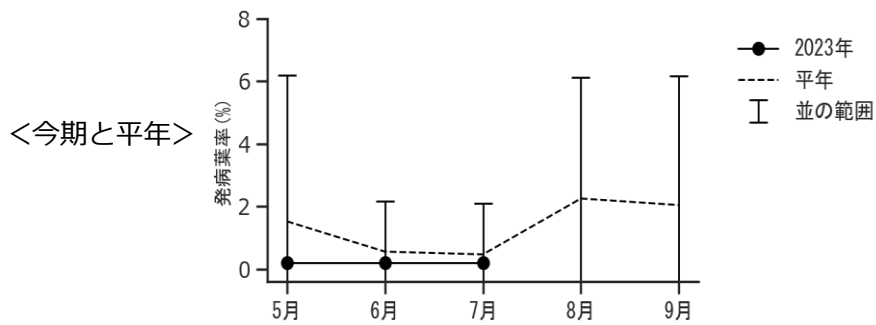


作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病			
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並		
予 報	7 月からの増減傾向	↗		
	8 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

発病葉率の推移



・発生ほ場率20.0% (平年 : 2.2%)

防除のポイント

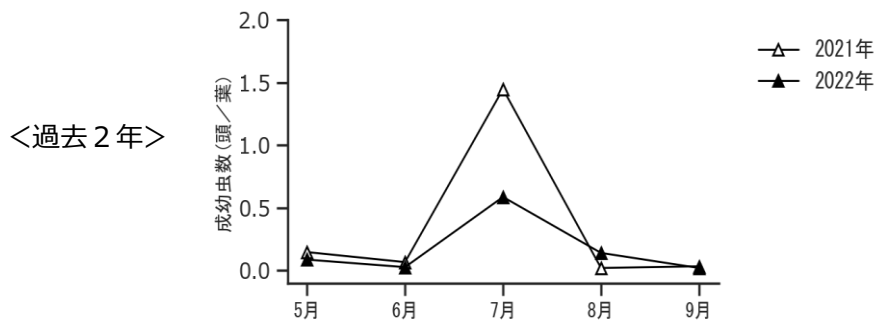
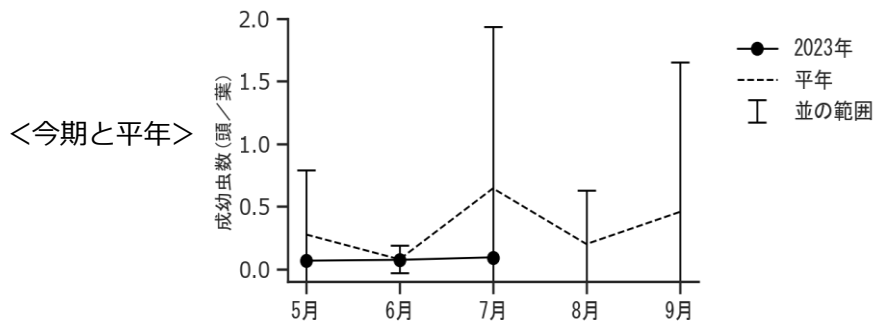
- ・下位葉は適宜除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。
- ・罹病葉は早めに除去し、定期的な予防散布を行う。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	↘	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	



調査結果


成幼虫数の推移



・発生ほ場率60.0% (平年 : 28.9%)

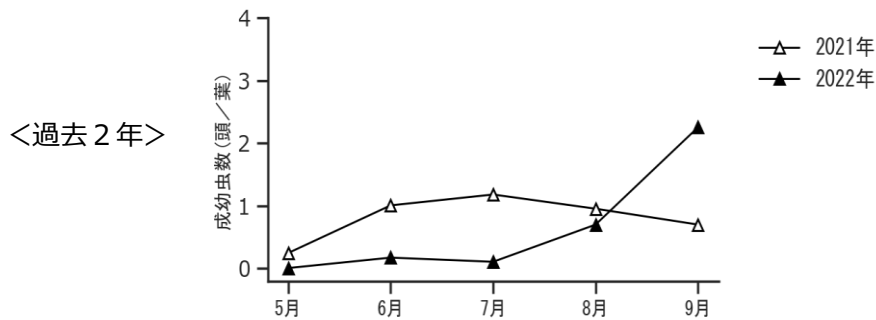
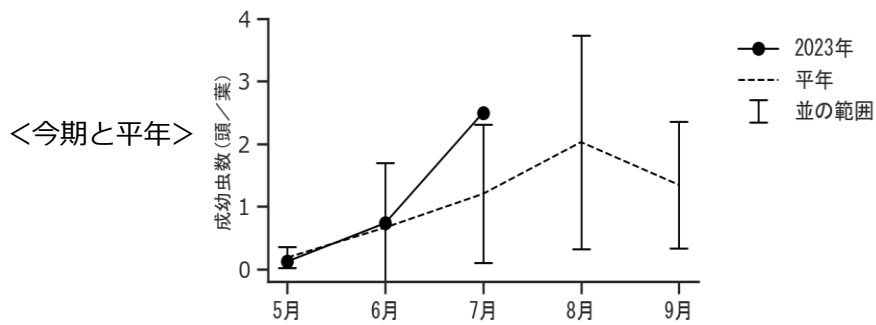
防除のポイント

- ・発生源となるほ場内の雑草を除去する。
- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、茎頂付近や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。

作物	オクラ		地域	沖縄群島
病害虫名	③ フタテンミドリヒメヨコバイ			 成虫
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報	7 月からの増減傾向	↗		
	8 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

成幼虫数の推移

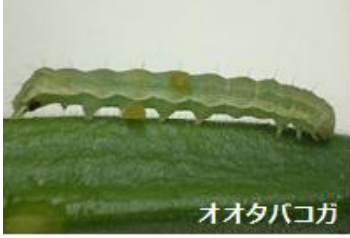


・発生ほ場率100% (平年 : 68.9%)

防除のポイント

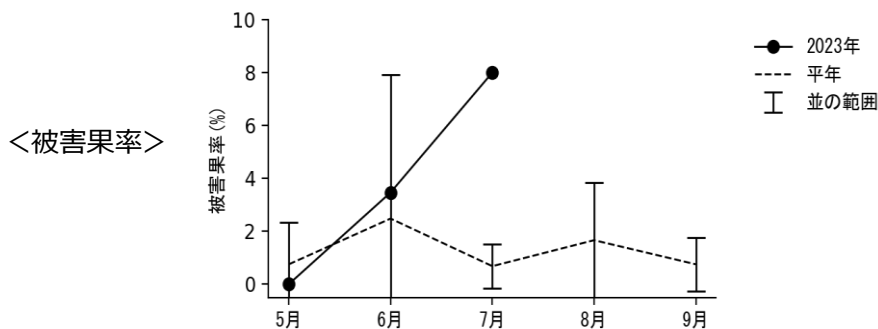
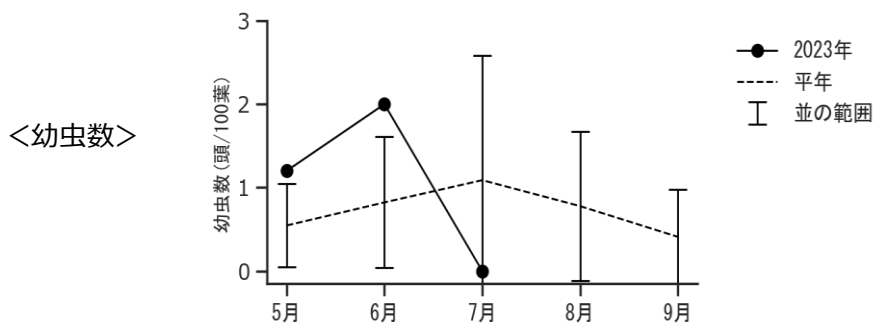
・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	④ チョウ目幼虫		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	7 月からの増減傾向	↓	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の発生推移



・発生ほ場率0% (平年 : 31.1%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

